

岩手県東日本大震災津波復興委員会 第10回女性参画推進専門委員会の概要について

1 開催概要

- (1) 日時 平成30年3月14日（水）14：00～16：00
岩手県公会堂 2階 26号室
- (2) 出席者 委員11名（2名欠席）
- (3) 審議事項等
 - ① 第3期復興実施計画の進捗状況について
 - ② 次期総合計画の策定について
 - ③ その他

2 審議概要

① 第3期復興実施計画の進捗状況について

[両川委員]

- ・ 仮設住宅から恒久住宅への移行が進んでいるのはよいが、新たなコミュニティ形成への支援もお願いしたい。

[村松委員]

- ・ A評価とされている取組についても課題に目を向けていく必要があるのではないかと。

[藤澤委員]

- ・ 応援職員も含め現場の職員は業務量も多くなっており、メンタルヘルス面でのケアを引き続きお願いしたい。

②次期総合計画の策定について

[両川委員]

- ・ これから先の10年を考える計画ではAIの活用など、学びや仕事について新たな枠組みの中での検討が必要である。

[手塚委員]

- ・ 復興プラン4つ目の柱の教訓の伝承は大事なことである。また、教訓という言葉だけに集約できない生き様などの部分も含め広く伝承・発信に取り組んでいただきたい。

[神谷委員]

- ・ 直近では大雨による浸水なども起きており防災教育の一層の充実が必要である。個々の学校により差が出ることをないように、県レベルで命を守る意識を高めてほしい。

[菅原委員長]

- ・ 4つ目の柱は評価するが、単なる伝承から一歩踏み込んだ人材育成が重要であり、**教育、人材育成というキーワードが見えるようにしていただきたい。**
- ・ **女性参画の取組**についても、計画上に見える形でとりまとめをお願いしたい。

[平賀委員]

- ・ 住民や子どもたちの意見を反映したまちづくりを進めてほしい。

[山屋委員]

- ・ 人口減少の問題に直面する中、計画においても**多様な女性の生き方や家族の形を示す必要がある。**

[植田委員]

- ・ 大震災から8年目を迎え風化が進む中でも、関心を持っている若者もいる。伝え続けられるような**人材育成が必要**である。
- ・ NPO法人で県内に40人ほど長期インターンの受け入れをしている。若者の第二のふるさととなるためには、雇用や収入が重要。10年間の施策の中にも仕事、収入についての取組を取り込んでいただきたい。

[盛合委員]

- ・ 被災地に情報が届きにくいという現実を踏まえた計画策定をお願いしたい。